

2021年度 学位授与の方針（学生が身に付けるべき資質・能力の目標）（DP）に照らした 学修成果に関する検証 ＜産業福祉マネジメント学科＞

2021年度の在籍生に対してマイステップ「学修成果の把握」を実施し、各項目についての評価点を集計・分析した。項目名とガイドライン、および各項目における評価の視点と点数は、以下の通りである。

C02.MI.学修成果の把握（学科の目標 学位授与方針）

プレビュー

NO	項目名	
7	入力時期	
1	知識・技能	企業マネジメントコース、地域共創コースで習得する知識をもとに討議及び論述ができるかが問われます。
2	プレゼンテーション力	ICTを用いた情報収集をもとに、相手の要望に効果的に応えるプレゼンテーションが実施できる。
3	課題解決力	知識に基づいた学際的な議論をもとに、多様な課題解決ができる。
4	キャリア観	将来・卒業後の自らのキャリア展望について関心があり、かつ経済情勢を踏まえた現状をもとにキャリアパスを描くことができる。
5	自由記述	気づいたこと、感想、今後の学修への取組など
6	学修成果の資料・レポート・画像等（最大26ファイルまで）	各項目の評価を客観的に裏付けるような根拠資料をアップロードしましょう。例)「情報技術」の項目について、評価点4「情報技術の

3.知識・技能 **必須**

- 1.企業の経済活動ならびに地域共創について考え説明することができない。
- 2.興味をもって調べたりするが、うまく説明できない。
- 3.一定の知識にもとづき、自らの興味の範囲では説明することができる。
- 4.一定の知識をもとに、現状と課題について討議できる。
- 5.専門知識をもとに現状と課題について討議でき、かつ論述することができる。

4.プレゼンテーション力 **必須**

- 1.プレゼンスキルを身につけていない
- 2.プレゼンスキルを身につける努力はしている
- 3.主だった、プレゼンスキルは身につけている
- 4.状況と要望に適合したプレゼンスキルを選択することができる
- 5.プレゼンスキルを活用して、有効なコミュニケーションを図ることができる

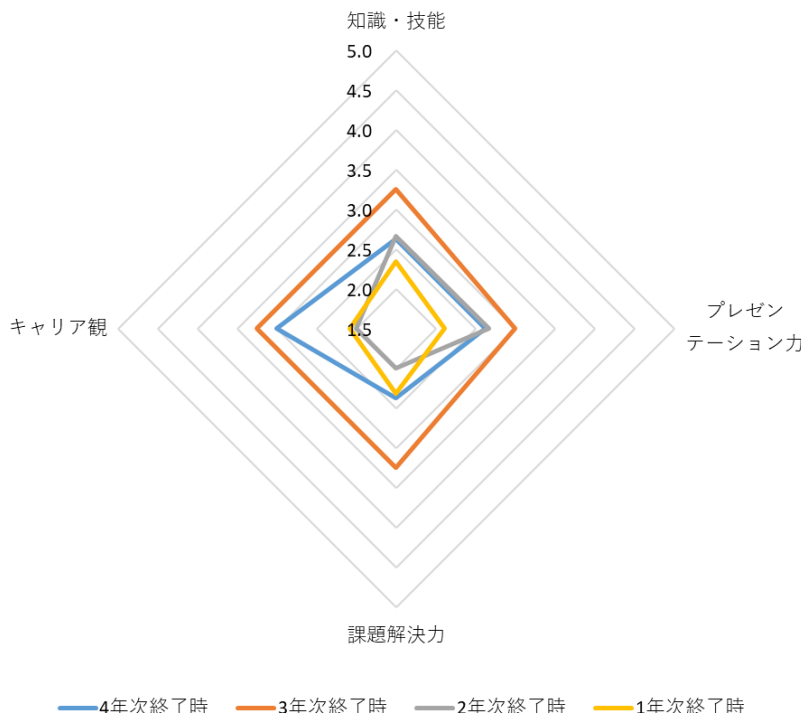
5.課題解決力 **必須**

- 1.知識を習得しようとする意欲がない、マネジメントサイクルで考える習慣がない。
- 2.知識を習得することならびにマネジメントサイクルで考える努力をしている。
- 3.一定の知識に基づき、問題を把握している。
- 4.専門的な知識をもとに、現状と課題について理解し基本的な説明ができる。
- 5.問題把握と解決策を具体的に考えることができる。

6.キャリア観 **必須**

- 1.キャリア展望を考える必要性に気づいていない。
- 2.キャリア展望の必要性には気づいているが、説明できない。
- 3.キャリア展望について説明することができる。
- 4.キャリア展望を特定の業界・企業の動向を踏まえた上で説明することができる。
- 5.キャリア展望について、経済情勢ならびに業界・企業の動向を踏まえた説明ができる。

4年生8名、3年生4名、2年生3名、1年生90名から回答があった。各項目の評価点の平均値を学年別にレーダーチャートにプロットしたのが下のグラフである。差異を見やすくするために、グラフ上では評価点のレンジを1.5～5.0とした。学年により回答者数が大きく異なるが、学年進行に伴ってキャリア感が醸成されるなど、バランスが良くなる傾向が見られたことから、取り組みは概ね適切と考えられた。



実施時期	知識・技能	プレゼンテーション力	課題解決力	キャリア観
4年次終了時	2.6	2.6	2.4	3.0
3年次終了時	3.3	3.0	3.3	3.3
2年次終了時	2.7	2.7	2.0	2.0
1年次終了時	2.3	2.1	2.3	2.1

—4年次終了時 —3年次終了時 —2年次終了時 —1年次終了時

その他、自由記載として、以下のようなコメントが寄せられた。

2年生

・何度かプレゼンをする機会があり、それぞれに資料をまとめ発表した。伝えたいことをうまく話すことはできたと感じられる。与えられた情報の理解や、それに追加して調べたことを整理するのが難航した印象が多かったため、今後さらに効率よく行える余地があると思う。

1年生

・まだ一年で至らないところが多いが、しっかりやっていきたい。

・社会に対しての、課題発見や課題解決に対しての意欲が少ないように見えた。持ち前のプレゼンテーション能力をいかんなく発揮するためにも、今一度考えを改める必要がある。特に、キャリア展望に関しては何もわかっていない状況である。

・今現段階でキャリアというものを考えられる状況にないのが正直な感想で、しかし将来、社会に出る身としては必ず必要になるので、考えることができなくても必要性を見直すことはできるのかなと感じた。

・成果が出てくる段階に入り切れていないかもしれない不安はあるが、これから先より成果を挙げるように取り組みたい。

・就職活動であったり、就職後にプレゼンテーションをする場面があると思うが自分は人前では緊張してしまうのでこれからの大学生活を通してコミュニケーション能力を身につけたい。